

# 地政学ブームに一石

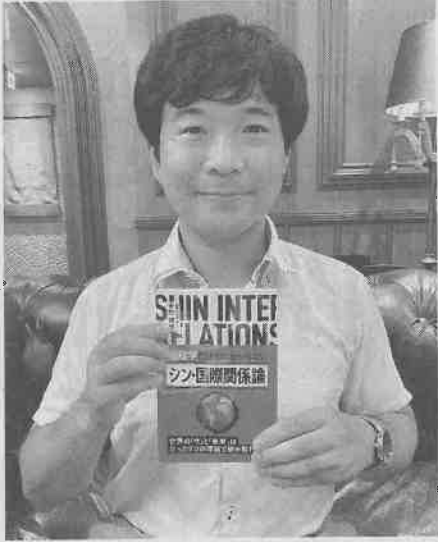
## 日本医療科学大「シン・国際関係論」出版 天野准教授

日本医療科学大学（毛呂山町）の天野修司准教授（42）が、自身の教育・研究活動の集大成となる「地政学だけではわからないシン・国際関係論」を出版した。「読んでもらえば複雑に見える国際情勢も簡単に理解できるようになるはず」と話している。

（高野里美）

ロシアによるウクライナ侵攻、中国の脅威など国際情勢が緊迫化している中、「なぜ世界はこうなってしまったのか、これから世界はどうなるか、これから世界はどうなるか、その答えを導き出すのが国際関係論」と天野

天野准教授は本書の中で



「地政学だけではわからないシン・国際関係論」を出版した国際政治学者の天野修司さん

ローバルスタンダードな国際関係論を五つ紹介している。その一つが「バランス・オブ・パワー理論」。国際社会で繰り返し起きる戦争と自然に形成される国家間の勢力均衡について読み解く。

天野准教授は「国際社会の普遍的な構造は無政府状態。平和であったことはなく、バランス・オブ・パワーがうまく保たれている間だけ安定している」と説明する。

また、敵対する二つの勢力が核兵器を保有することで戦争が起（こ）りにくくなる「核抑止の理論」や国民の意思が政策に反映される自由主義の国同士では戦争をしないと説く「デモクラティック・ピース論」、そのほか「相互依存論」「国際レジーム論」で世界の動きを分析。

さらに中国のパワーの増大で日本はどうなるのか、北朝鮮が核やミサイル実験を繰り返すのはなぜか、日韓関係が悪化する原因は何にあるのか、など現在世界で起きていることを平易な文章で解説する。

天野准教授は2003年大阪府立大学在学中にプロボク

サーとしてデビューするという異色の経歴を持つ。引退後、09年に米国ジョージア工科大学院修士課程を修了し、慶応大、長崎大で研究員、助教を経て現職。「地政学だけではわからないシン・国際関係論」はイースト・プレス社刊、1650円（税込み）。